

持ち帰りプロンプト集

— 校務の時短編

帰ったらそのままコピーして使えるプロンプトを場面別に収録。【 】の部分をご自身の情報に書き換えてお使いください。

精度が上がる「3点セット」の入れ方

1 役割

AIに「誰として答えるか」を伝える
例：「教育現場向けの文章として」

2 条件

学年・文字数・トーン・用途など具体的な制約を明示する

3 出力形式

「箇条書きで」「本文のみ」「件名付きで」など形を指定する

（例）塾の保護者向けお知らせ文を作ってください。【丁寧・柔らかい口調】で、【400字程度】、件名と本文のセットで出力してください。内容：【夏期講習の案内、7/21開始、申込締切7/10】

このプロンプト集は、この3点セットがすでに組み込まれた“すぐ使えるテンプレート”です。**プロンプトの仕組みを深く知りたい方はセミナーBへ。**

1 保護者へのお知らせ・通知文

1通 5分 → 30秒

【 】を書き換えてコピー

保護者向けのお知らせ文を作ってください。
塾の連絡文として、丁寧に温かみのある口調をお願いします。
件名と本文をセットで出力してください（本文は400字前後）。

内容：【連絡したいこと・イベント名・日付など】
対象：【学年または全学年】
特記事項：【持ち物・申込方法など、あれば】

コツ：「内容」に箇条書きで要点を書くだけでOK。丁寧さ・文字数はAIが整えてくれます。気に入らなければ「もう少し短く」「文末を～ます調に」と追加指示を。

削減時間の目安
1通あたり
5分 → 30秒

2 テスト対策プリント・宿題作成

1枚 30分 → 5分

【 】を書き換えてコピー

【学年】【教科】のテスト対策プリントを作ってください。
単元：【単元名】
難易度：【基本／標準／応用】
問題数：【問題数】問
解答は問題の後ろにまとめて出力してください。
問題には番号を振り、計算問題は途中式が書けるスペースを（空白行で示して）確保してください。

コツ：数学は「途中式スペースあり」、英語は「和訳・並べ替え・空欄補充を混ぜて」など出力形式を追加するとすぐ使える形になります。

削減時間の目安
1枚あたり
30分 → 5分

3 面談前の準備メモ

15分 → 3分

【 】を書き換えてコピペ（個人情報は入れない）

保護者面談の準備をしています。以下の状況をもとに、
面談で話すべきポイントを整理してください。
箇条書き5点以内で出力してください。

生徒の状況：【学年・学習状況・最近の変化など、匿名で】
保護者が気にしていること（わかれば）：【内容】
今回の面談で伝えたいこと：【メインメッセージ】

コツ：実名・成績の数値は入力しないでください。「中2女子・数学は安定、国語の読解に課題」のように匿名・概括で十分整理できます。

削減時間の目安
1回あたり
15分 → 3分

4 問い合わせメール・電話後の返信文

10分 → 1分

【 】を書き換えてコピペ

塾への問い合わせに対する返信メールを書いてください。
丁寧かつ簡潔な口調で、件名と本文をセットで出力してください（本文300字前後）。

問い合わせ内容：【どんな質問・相談だったか】
回答・案内したいこと：【答える内容・案内する内容】
次のアクション（あれば）：【体験授業の案内・電話折り返しなど】

コツ：「回答したいこと」を箇条書きで書けばOK。メールの文体・挨拶文はAIが整えます。出力後に塾名・担当者名を追記して送信します。

削減時間の目安
1通あたり
10分 → 1分

5 チラシ・SNS投稿文

1時間 → 10分

【 】を書き換えてコピペ

塾のSNS投稿文（Instagram・LINE公式）を作ってください。
ターゲット：【中学生の保護者／高校受験生など】
投稿の目的：【入塾案内／イベント告知／日常の活動紹介など】
塾の特徴・強み：【個別指導・5教科対応・アットホームな雰囲気など】
伝えたい情報：【具体的な内容・日程・特典など】
文字数：200字前後、読みやすい改行あり、ハッシュタグ3個付きで出力してください。

コツ：「チラシ用にA4・3段組でキャッチコピーと本文を分けて」と指定するとチラシ原稿にもなります。複数パターンを「3案出して」と依頼するのも効果的。

削減時間の目安
1本あたり
1時間 → 10分

6 保護者向け指導報告文（連絡文）

1通 5分 → 30秒

【 】を書き換えてコピー（実名・成績数値は入力しない）

個別指導後に保護者へ送る指導報告文を作ってください。
丁寧で温かみのある口調で、300字程度で本文のみ出力してください。

生徒の状況（匿名・概括で）：【学年・教科・最近の取り組み】
今日の授業で扱った内容：【単元・ポイント】
生徒の様子・頑張り：【具体的なこと】
次回までの課題・メッセージ：【宿題の内容・励ましの言葉など】

コツ：「今日の授業で扱った内容」を1～2行書くだけで、それっぽい報告文が出ます。デモで見せた実例です。出力後に生徒名を手入力して送信してください。

削減時間の目安
1通あたり
5分 → 30秒

7 小テストの作成

20分 → 3分

【 】を書き換えてコピー

授業の冒頭で使う小テストを作ってください。
教科：【教科】
学年：【学年】
単元：【単元名】
問題数：【問題数】問（全問2～3分で解けるレベル）
形式：選択肢なし・記述式
解答は問題の直後に（各問の下に）出力してください。

コツ：「前回の授業の復習として」「次の単元の導入として」と目的を一言添えると内容がぐっと的確になります。

削減時間の目安
1回あたり
20分 → 3分

8 夏期講習・講座のお知らせ文

30分 → 3分

【 】を書き換えてコピー

塾の夏期講習のお知らせ文を作ってください。
対象：【学年または全学年】
開催期間：【期間】
特徴・ウリ：【個別対応・5教科・弱点集中など】
申込締切：【日付】
申込方法：【電話・LINE・HPなど】
件名と本文（400字程度）をセットで出力してください。
保護者向けの丁寧な口調をお願いします。

コツ：「チラシ版も」と続けて頼むと、同じ情報から折込チラシ用のキャッチコピー付き原稿も出せます。セミナーのデモで実演した実例です。

削減時間の目安
1本あたり
30分 → 3分

使うときの注意 — 3つのポイント

- ！ 個人情報を入力しない。生徒の実名・具体的な成績・住所などは絶対に入力しないでください。「中2男子・数学が苦手」のような匿名・概括表現で十分に活用できます。無料AIツール（ChatGPT無料版・Geminiなど）への入力は、サービス側のデータに使われる可能性があります。
- ！ 出力は必ず先生が確認・編集してから使う。AIは誤情報・不自然な表現を出すことがあります。ドラフト（下書き）として使い、最終確認は必ず先生が行ってください。「AI任せ」ではなく「AI下書き→先生が仕上げる」が正しい使い方です。
- ！ このプロンプト集は無料ツールで完結します。ChatGPT（無料版）・Gemini（無料版）・Claude（無料版）のいずれでも使えます。課金・アプリのインストール・プログラミングは一切不要です。スマホのブラウザだけでOKです。

次のステップ — もっと活用したい方へ

セミナーA 領域B版

生徒のAI活用、「禁止」から「指導」へ。
生徒への指導法を体験する90分（無料）。

セミナーB（有料 5,000円）

プロンプトの書き方・教科別活用法・
NotebookLMまで踏み込む3時間実践
講座。

セミナーC（高額 3～5万円）

API連携・自動化・独自AIツール構築。
担当者研修・校内導入支援も対応。

お申し込み・お問い合わせ 学習塾ソートアップ（高須賀 惇也）

seminar.thought-up.com

TEL 089-989-2464